



2021JR総連春闘勝利！ シリーズ⑧

**賃上げの原資は無いとは言わせない！
内部留保金から捻出せよ！
まずは役員報酬を減額せよ！**

JR東海の令和2年度第3四半期決算（連結）は、1,114億円の赤字を計上しました。会社は、これを理由に賃上げを渋る回答が予想されます。全社員の皆さん、赤字だからといって、私たちの生活を犠牲にしても良いのでしょうか？

JR東海には利益剰余金（内部留保金）が約3兆6,000億円もあります。社員が稼いだ金です。賃上げに必要な資金は、その極わずかです。会社は「経営が厳しい」と言いつつ、一方ではリニア建設のために莫大な投資を行っています。社員の生活よりも、経営破綻確実のリニアを優先するとは、とんでもないことです。

役員報酬については、10%の自主返納を4月まで延長するとしていますが、たかが10%です。その10%の平均は、一般社員の年収に匹敵します。自主返納ですので、返納しなくても良いのです。普通の民間会社なら、まずは役員報酬から削減するでしょう。全社員の皆さん、こんな不公平を許して良いのでしょうか？

従って、今春闘のベアや夏季手当について、JR東海労の要求を満額回答できるだけの体力は、会社には充分あるのです。

JR東海労は、役員だけが優遇され、社員だけが犠牲になることを許さないために闘います。共に声を上げましょう。